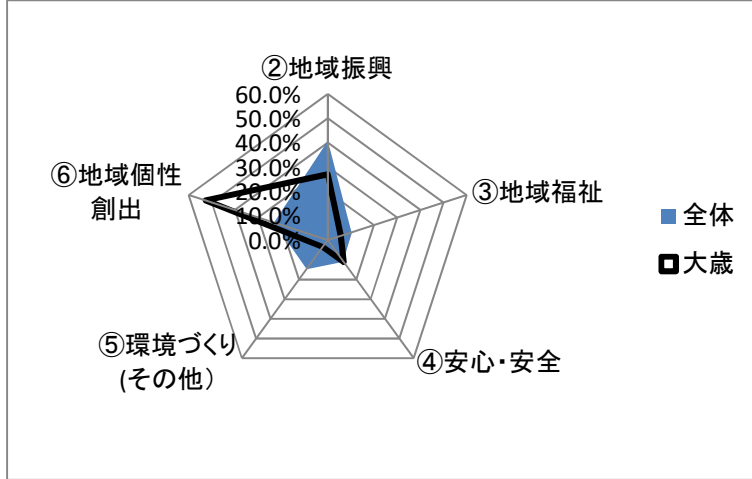


大歳まちづくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和4年度)

■地域の情報

地域人口	14,088人	自治会数	29
世帯数	6,940世帯	自治会加入率	60.8%

※数値は、令和5年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	11,630,000 円
交付金決算額	10,034,310 円
その他収入	56 円
交付金決算額／配分額	86.3%

各分野の決算

①協議会運営	4,449,312 円
②地域振興	898,951 円
③地域福祉	190,009 円
④安心・安全	372,696 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,257,000 円
⑤環境づくり(その他)	113,266 円
⑥地域個性創出	1,753,132 円
決算総額	10,034,366 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう、明るく住みよいおおとしを」をテーマに地域づくりを展開する。

■総括

秋には「大歳まつり」が、大歳まつり実行委員会の主導で、3年ぶりに実施された。久しぶりの開催であったこともあり、来場者が多く、早い時間に売り切れが出るほどの盛況であった。事業の実施は、各分野の地域づくり活動部会が担う組織体制となっているが、活動規模や頻度を維持することが部会員の高齢化も相まって困難な状況にあり、若い世代の参加促進をはじめ、諸対策を講じることが急務となっている。交通安全対策として地域からの意見を移動市長室で申し入れた。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長1名、事務員2名の事務局人件費及び事務費
② 地域振興	地域情報の収集と発信、あいさつ運動の推進
③ 地域福祉	高齢者支援体制の充実、子育て支援の充実、子ども会活動の活性化
④ 安心・安全	生活安全(防犯)対策の充実、交通安全対策の充実、災害安全対策の充実、見守り体制の充実
⑤ 環境づくり	環境美化活動の推進、法定外公共物等の整備
⑥ 地域個性創出	自治会内の交流促進、地域内の交流促進、住民総参加による地域の活性化、ふるさと大歳の伝承、花いっぱいの大歳づくり、交流列車おおとし(大歳駅)の活用

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自治会内の交流促進	決算額	746,233円
	目的	自治会内のふれあい事業を実施することにより地域の交流を深める。		
	実施内容	①1自治会1事業の実施補助 ②大歳地区一斉清掃実施補助 ③三世代交流夏休みラジオ体操の実施補助		
	実施時期	①通年 ②10月第3日曜日(10月16日) ③夏休み期間中		
	参加人数	①10自治会279人 ②26自治会2,563人 ③11自治会4,738人		
	成果	継続した事業を促進してきたことで、自治会内での交流が活発化しつつある。交流事業は年々定着している。		
	評価	1自治会1事業の開催及び地区内の一斉清掃、夏休みラジオ体操はコロナで今年度も事業が縮小したが概ねできた。		
今後に向けて	関連事業の未実施自治会に対し、取り組みを依頼。地区内の自治会内で三世代交流を図る。			
②	事業名	地域情報の発信	決算額	864,631円
	目的	地域の課題や住民に有益な情報を収集・発信する。		
	実施内容	地域情報誌「まちづくりかわら版おとし」の編集と作成、全戸配布。ホームページの充実(ブログ、フェイスブック、YouTube)、フォトコンテストの実施。		
	実施時期	通年(情報誌は隔月発行)		
	参加人数	会長、部会長7名、広報委員3名		
	成果	地域住民に対して、地域の情報や地域づくり活動を周知できた。		
	評価	広報部会がかわら版の作成に携わっているが、現地に取材に行き情報収集と発信に意欲的に活動している。例年は紙面改善を行うためにモニターを募集し広報部会会議で検討している。		
今後に向けて	紙面内容に、地域住民のニーズを反映し、地域づくり活動の情報発信と、地域に密着した内容で記事を作成。住民に参画を呼びかけ、ブログやフェイスブック、YouTubeの充実を図る。			
③	事業名	史跡看板の設置	決算額	140,195円
	目的	ふるさと大歳の伝承。		
	実施内容	地区内に史跡・旧跡看板を設置し、地域のPRを行った。		
	実施時期	随時		
	参加人数			
	成果	今年度は今井上に史跡看板を設置した。		
	評価	湯田温泉駅から近く人通りの多い場所に史跡看板を設置し、行きかう人々に大歳をPRした。		
今後に向けて	令和5年度は大歳地域交流センター敷地内に大看板を設置する予定。今後も取り組みを継続し、地域内の魅力ある場所を発信していく。			